

頭頸部癌 扁平上皮癌（局所進行性）
Cetuximab+RT療法（導入）

2nd, Line

患者ID： @PATIENTID

患者氏名： @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Dc	HEIGHT01_Dc	#VALUE!

投与スケジュール： 1コース 7日 目標コース回数 7コース

RT： day 8 より2.0Gy/回, 総線量70.0Gy

使用基準： 同意書取得必須。

※ **投与中・投与終了後少なくとも1時間**はVital signs のチェック（Monitor装着を推奨）

※ **Infusion reaction**に要注意

重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショック、心筋梗塞、心停止)の発現の報告が**初回投与**又は**投与終了後1時間以内**に多いが、**投与数時間後**又は**2回目以降**の投与でも発現することがある。

※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的（月1回程度）に行うこと。

※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《 使用薬剤 》

セツキシマブ (CET)： (セツキシマブ) 100mg/20mL/V

投与量：

薬剤	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
セツキシマブ	400 mg/m ²	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール：開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日： 6月11日 (木)

day1	0時00分	①	生理食塩液50mL + デキサート13.2mg + ポララミン(5mg) 1A	
			15分で点滴静注	
	0時15分	②	生理食塩液 100mL	
			30分で点滴静注	
	0時45分	③	生理食塩液 500mL + セツキシマブ 0mg	
			2時間で点滴静注	0.0mL
	2時45分	④	生理食塩液 250mL	
			1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)	

REFERENCE

- James A Bonner, Paul M Harari, Jordi Giralt, et al : Lancet Oncol 11:21-21, 2010
Radiotherapy plus cetuximab for locoregionally advanced head and neck cancer : 5-year survival data from a phase 3 randomised trial, and relation between cetuximab-induced rash and survival.
James A. Bonner, M. D., Paul M Harari, M. D., Jordi Gilralt, M. D., et al : N ENGL J MED 354:567-78, 2006
Radiotherapy plus cetuximab for squamous-cell carcinoma of the head and neck
2013年4月度化学療法プロトコール審査委員会承認